

「児童発達支援事業を活用している特別なニーズがある子どもの感覚調整機能と行動の一考察」に関する情報公開

1. 研究の対象

名古屋大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院生命倫理審査委員会保健学臨床・疫学研究審査委員会の承認を得た「特別な教育ニーズがある保育園児の行動と感覚調整機能について—保育者が支援の必要性を感じている園児の調査—」（承認番号：18-602）で得た以下の資料・情報（アンケート結果）を二次活用致します。

【二次活用する資料・情報】

○日進市と中津川市の保育園の保育士が回答した以下の資料

1. 「子どもの行動についての質問紙」
2. 「感覚調整機能についての質問紙」

※)資料は以下の群を反映させたものである。

- ①児童発達支援事業を活用している特別な教育ニーズがある子ども（Special educational needs:以下、SEN児）・・・20名分
- ②定型発達児・・・20名分
同一の保育士が日々の①と②の生活を想定して回答した1.と2.の回答結果・・・20名分

2. 研究目的・方法

・目的

幼児期の発達支援事業を活用している SEN 児と、定型発達児との比較の中で、感覚調整機能と行動について検討します。

・方法

本研究は、研究Ⅰと研究Ⅱによって構成されます。研究Ⅰでは、2008年から2018年までの文献を国外の論文サイト「The American Journal of Occupational therapy」で検索します。検索した論文から、児童発達支援事業の活用の有無にかかわらず、学童期と幼児期の SEN 児の感覚調整機能と行動の研究を重点的に読み進めて、学童期と幼児期の SEN 児の感覚調整機能と行動との関係を検討します。研究Ⅱでは、大学院医学系研究科及び医学部附属病院生命倫理審査委員会保健学臨床・疫学研究審査委員会の承認を得た「特別な教育ニーズがある保育園児の行動と感覚調整機能について—保育者が支援の必要性を感じている園児の調査—」（承認番号：18-602）の研究で得た既存資料を二次活用致します。

・研究期間

名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理審査委員会承認日～32年3月31日

3. 個人情報の保護

- ① 本研究においては、個人情報は活用致しません。すでに承認番号 18-602 の研究において、連結可能匿名化された資料をさらに、連結表の必要のなくなった資料(アンケートの回答結果)を二次活用致します。承認番号 18-602 により得た情報は、辛島千恵子研究室(名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学作業療法学講座の南館 3 階 323 号室)の鍵のかかるロッカーに保管されているものです。
- ② 二次活用については、対象となった保育士が想定した園児の保護者の自由意志によるものですので、利用について承認できない場合は、お申し出ください。(以下、お問い合わせ先)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて園児もしくは保護者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも園児に不利益が生じることはありません。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻
教授 辛島千恵子

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL 052-719-1372

メールアドレス karashim@met.nagoya-u.ac.jp

.....以上